

令和6年度 会計管理者組織目標

組織名	会計管理者	部長	会計管理者 中野 力
組織の目的・方向性	市民から信頼される持続可能な行財政運営に資するため、安全かつ効率的な資金管理を行うとともに、適正な事務の執行を確保し、内部統制制度によるミスや不正の発生防止に努めます。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※			

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

会計管理者組織目標

新潟市総合計画 2030（持続可能な行財政運営）に基づき、内部統制制度の取り組みによる評価をもとに、市全体における会計事務の正確性の向上とともに、業務の効率化を実現するための DX の推進に取り組み、安全な資金管理に努めます。

この方針のもと、今年度は、次の3つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 市全体における会計事務の正確性の向上に努めます。
- 2 支払事務の迅速化及び効率化に努めます。
- 3 業務の効率化を実現するため、DX の推進に取り組みます。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	3	達成数	3
取組結果	会計検査の実施や、階層別の研修などの機会を捉えて適宜庁内に注意喚起を行うことにより、適正な会計事務のための意識付けや会計事務に必要な知識を定着させ、支払いの迅速化が重要であることを周知しました。また、公金取扱事務については、税目以外の e1-QR による納付に向けて取り組むとともに、支払いのデータ伝送を開始するなど、目標を達成することができました。				
今後の方向性	内部統制の評価の中で支払遅延に関する報告がなされていることを踏まえ、今後も支払遅延については、様々な機会を捉え庁内周知に努めていく必要があると考えます。 また、業務の効率化に向けては、DX を推進することで、より職員に負担の少ない会計事務となるよう、引き続き改善すべき方策を検討していきます。				